

表1 施設の概要

| | 株式会社カムテックス | 三光株式会社 |
|-----------|------------|---------------|
| 施設設置者 | 株式会社カムテックス | 三光株式会社 |
| 設置場所 | 広島県福山市 | 鳥取県境港市 |
| 焼却炉形式 | 回転ストーカ炉 | ロータリーキルンストーカ炉 |
| 燃焼ガス温度 | 850℃以上 | 850℃以上 |
| 燃焼ガスの滞留時間 | 2秒以上 | 2秒以上 |

表2 大気中のPCB及びダイオキシン類の濃度

| | 株式会社カムテックス | 三光株式会社 |
|----------------------|---|---|
| 施設敷地境界 ^{※3} | PCB (通常運転時): 0.18~0.66ng/m ³ (500ng/m ³) ^{※1} | PCB (通常運転時): 0.12~0.13ng/m ³ (500ng/m ³) ^{※1} |
| | PCB (本試験時): 0.40~1.4ng/m ³ (500ng/m ³) ^{※1} | PCB (本試験時): 0.084~0.80ng/m ³ (500ng/m ³) ^{※1} |
| 施設周辺 ^{※3} | ダイオキシン類 (通常運転時): 0.018pg-TEQ/m ³ (0.6pg-TEQ/m ³ 以下) ^{※2} | ダイオキシン類 (通常運転時): 0.0086pg-TEQ/m ³ (0.6pg-TEQ/m ³ 以下) ^{※2} |
| | ダイオキシン類 (本試験時): 0.056~0.073pg-TEQ/m ³ (0.6pg-TEQ/m ³ 以下) ^{※2} | ダイオキシン類 (本試験時): 0.012~0.013pg-TEQ/m ³ (0.6pg-TEQ/m ³ 以下) ^{※2} |

※1: 「PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCBの暫定排出許容限界について」(昭和47年環大企第141号)で定める環境大気中のPCBの濃度

※2: ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質汚染を含む。)及び土壌汚染に係る環境基準について(平成11年環境庁告示第68号)で定める基準値

※3: PCB及びダイオキシン類の濃度は高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計で測定

表3 排ガス中のPCB及びダイオキシン類の濃度等

| | 株式会社カムテックス | 三光株式会社 |
|------------------------|--|--|
| 試料のPCB濃度 ^{※3} | 10ppm | 12ppm |
| 試料の量 | 3.2キロリットル | 1.6キロリットル |
| 排ガス中の濃度 ^{※3} | PCB (通常運転時): 9.0ng/m ³ N (100,000ng/m ³) ^{※1} | PCB (通常運転時): 9.2ng/m ³ N (100,000ng/m ³) ^{※1} |
| | PCB (本試験時): 6.1~7.2ng/m ³ N (100,000ng/m ³) ^{※1} | PCB (本試験時): 4.7~7.3ng/m ³ N (100,000ng/m ³) ^{※1} |
| | ダイオキシン類 (通常運転時): 0.00028ng-TEQ/m ³ N (0.1ng-TEQ/m ³ N) ^{※2} | ダイオキシン類 (通常運転時): 0.0023ng-TEQ/m ³ N (1.0ng-TEQ/m ³ N) ^{※2} |
| | ダイオキシン類 (本試験時): 0.0010~0.0042ng-TEQ/m ³ N (0.1ng-TEQ/m ³ N) ^{※2} | ダイオキシン類 (本試験時): 0.0035~0.0063ng-TEQ/m ³ N (1.0ng-TEQ/m ³ N) ^{※2} |

※1: 「PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCBの暫定排出許容限界について」(昭和47年環大企第141号)で定める燃焼排ガスに含まれるPCBの量

※2: ダイオキシン類対策特別措置法(平成11年法律第105号)で定める基準値

※3: PCB及びダイオキシン類の濃度は高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計で測定